

■農工商連携で商品化
平成21年、遊休農地解消のため、栽培が比較的簡単で、加工時に付加価値を付けられる作物を探していました。そしてたどりついたのが、加工用サツマイモ「コガネセンガン」。生産者やJA前橋市、酒卸業者、県、市など農工商関係者が協力して実証実験を経て商品化しました。市内の酒販店などで購入できます。



1本 1,260円 (720ml)
お酒は20歳になってから

■本格芋焼酎「赤城の恵」
空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、妥協を許さず、手間を惜しまず、生産者が丹精込めて作った「赤城の恵ブランド」。今回は、赤城山の良質な伏流水をたっぷり吸って育てられた「前橋産サツマイモ」を100%使用した本格芋焼酎「赤城の恵」を紹介します。

■コガネセンガンは最高の原料

芋焼酎赤城の恵に使われるコガネセンガンは、でんぶん質が多く、芋焼酎の原料に最適です。昨年度は市内で23トのコガネセンガンを収穫。これらを洗浄、下処理し、芋焼酎の原料とします。

■どんな飲みかたでもおいしい

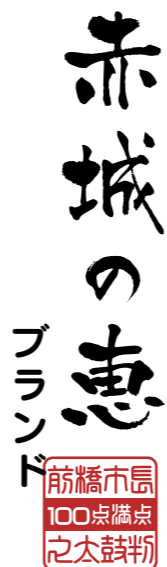
ふくよかな甘い香りを楽しむにはお湯割り。水割りやロックなど、芋焼酎赤城の恵は、どんな飲み方でもおいしく飲める銘柄です。

■生産者からのメッセージ

良質な原材料を提供するという責任感を持ち、焼酎を飲む人の顔を想像しながら、いっぱい汗をかいて作っています。今後も多くの皆さんに喜んで飲んでもらえるように、よいサツマイモを育てていきます。



生産者の横堀勇次さん



vol. 2



問い合わせは
農林課 ☎027-8998-5841

将来の夢のため花と向き合う



フラワーアレンジメントで県最優秀賞

高木 文絵さん 17歳
勢多農林高 3年



県内の農業高校生によるフラワーアレンジメント技術競技大会で最優秀賞に輝いた。11月には愛知県で開催される全国産業教育フェアのフラワーアレンジメントコンテストに出場する。
「昨年続き2回目のチャレンジでした。前回は残念ながら受賞できませんでしたが、その悔しさを乗り越えたからこそ最優秀賞を取れたのだと思います」
前回の経験から、作業の時間配分と、きれいに咲いている花を前面に配置することに気を配った。
「大会の準備期間中は土日曜も学校へ来て練習しました。親身に指導してくれた顧問の角田先生には感謝しています」
勢多農林高でフラワーデザインを学ぶ中で、花に魅了された。将来は、ブライ

ダル業界で花を扱う仕事をしたいという。「人生の中で一番輝いている瞬間を支えたい。ブライダル現場で、この高校で学んだ技術を生かしたいです」
卒業後は、県内のブライダル専門学校への進学を希望している。
「11月の全国大会にも真剣に取り組んで、仕事で役立つ技術をしっかり身に付けないと。一番上の賞を目指したいです」
高校生活で将来の夢を見つけたことができた。それを実現するための技術を磨く日々は充実しているという。
「残りの高校生活も半年になりました。毎日楽しいですが、その中でもしっかりと将来の準備もしないとですね」
大好きな花で気持ちを表現。出来上がった作品は、みんなを笑顔にしている。



風情ある花火が彩る前橋の夏

8月10日、大渡橋周辺で前橋花火大会を開催。前橋の四季や本市発祥の空中ナイアガラなど、約1万5,000発の花火が夏の夜空を舞いました。ことしはT-1グランプリ決勝進出店舗が出店。多くの人でにぎわいました。



ピンホール写真って楽しいね

8月9日に前橋文学館で「ピンホール写真と詩の世界」を開催しました。参加した13人の子どもたちは、箱を使ってピンホールの手作りカメラを製作し、気に入った風景を撮影。出来上がった絵のような写真を元に、感じたことを思い思いの詩で表現しました。



自慢のロボットを自在に操る

手作りのロボットを使って技術やアイデアを競い合うサンデンまえばしロボコン2013を8月17日、総合福祉会館で開催しました。県内外から136チーム約360人が参加。創造性にあふれたロボットを真剣に操作する参加者の姿に、会場は熱気に包まれました。



市の現場の仕事体験

8月18日に前橋プラザ元気21などで、市役所現場ではたらくひとたち展を開催しました。市職員が現場で行っている仕事を、パネルや使っている道具などで紹介。ごみ収集車体験や工作、給食の試食などのイベントも行われ、多くの家族連れでにぎわいました。